

注力事業 1 デジタルソリューション事業

先端フォトレジストを中心に
市場成長率を上回る売上収益の実現と
さらなるシェア拡大を目指す

デジタルソリューション事業の主力である半導体材料事業においては、市場成長以上の売上成長を目指し、ArFレジスト、多層材料の市場シェアを高いレベルで維持することに加えて、EUVレジストの本格的な立ち上がりを取り込みます。また、洗浄剤やCMP、実装材料の拡販にも取り組

みます。これにより、半導体材料事業の対面業界であるシリコンウエハー投入量の中期的な成長率を上回る売上収益の成長を目指しています。その中で、2020年度から2021年度にかけては業績予想を上回る16%の売上成長を実現し、今後もPCやスマートフォン、サーバー、自動車

	売上収益 市場成長以上	コア営業利益率 高利益率の維持 (≧23%)
市場	規模 ●フォトレジスト市場計：20億ドル (半導体市場：5,500億ドル) トレンド ●安定的に成長 ●技術革新の進展	
社会的価値	●スマート社会の実現 (AI, IoT) ●小型化と省電力での高性能化の実現	
強み	●先端材料で高い市場シェア (例：ArF 30%, 配向膜 50%)	
戦略	●半導体材料事業へリソースを集中 ●M&Aを含む事業規模および分野の拡大	

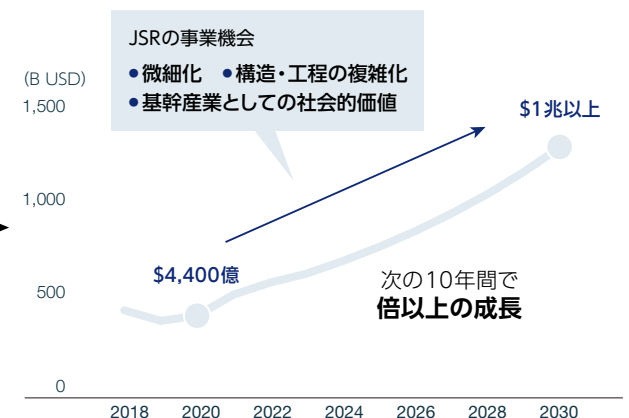
JSRのポジション



などのデジタルライゼーションの進展に伴う半導体需要の高まりに合わせて、市場成長および事業環境ベースの予想を上回る成長率が期待できると認識しています。

そして今後は、こうした市場環境を踏まえたくうえで、さらなる拡大が見込まれているArF、EUVなどの先端フォトレジストへの注力を継続していきます。ArFフォトレジストについては、JSRがグローバルでトップシェアを確保し、世界で生産される半導体の約1/3に当社の製品が使用されている状況に満足することなく、引き続きシェアを向上させていく方針です。EUVでは、台湾・韓国市場を中心とする最先端分野の3nm(ナノメートル)世代およびメモリ向けへの貢献を高めてトップランナーを目指します。加えて、プロセスの複雑化に対応したCMP材料、洗浄剤、実装材料の大幅な成長も見込んでいます。

半導体市場



* -2020 SEMI, 2021- IBS

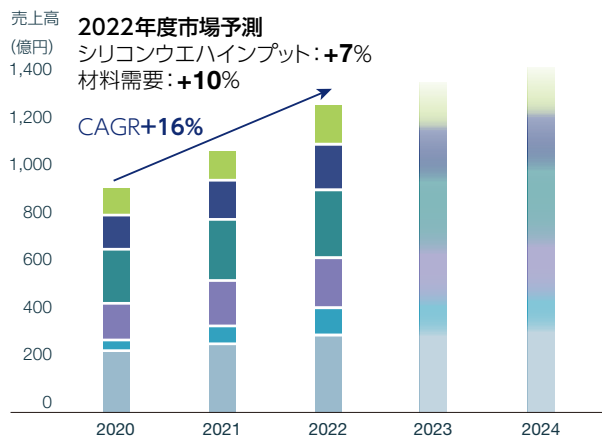
Our Business

次世代EUV技術を獲得し、幅広い製品群でグローバル市場をリード

JSRグループは、四日市、米国、ベルギーの研究開発・製造・販売拠点を中心とするグローバルな供給体制を構築して、製造プロセスの最適化や技術革新に取り組むとともに、それぞれの顧客が求める製品の安定供給に努めています。そして、半導体のさらなる微細化を実現するEUVリソグラフィー技術で注目されている「メタルオキシドレジスト」については、同製品の設計・開発・製造で世界をリードするInpriaの買収を2021年10月に完了しました。今後、同社とのシナジー創出により、量産技術や品質管理などの高度化を実現していく計画です。

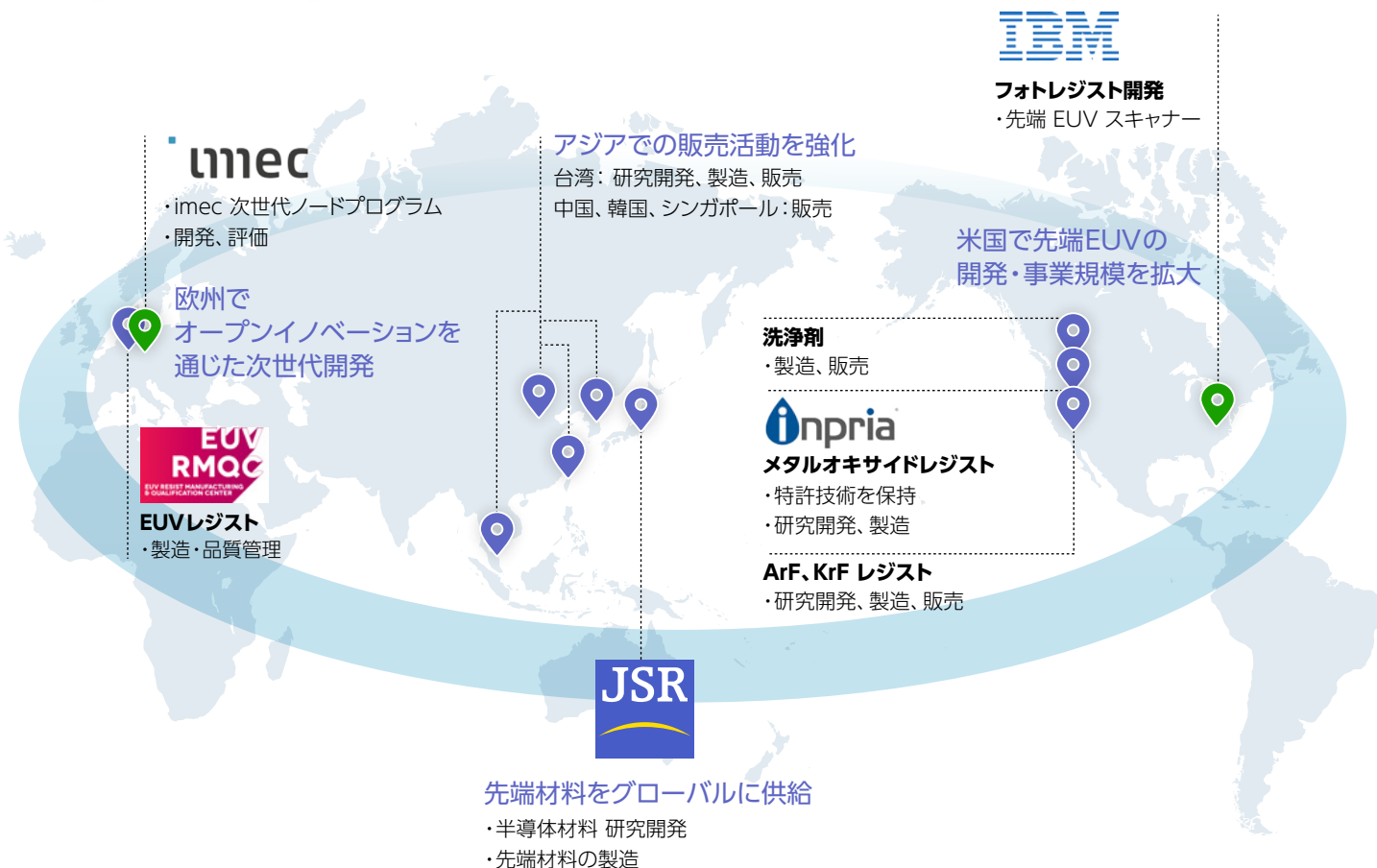
半導体材料事業計画

- ArF ■ EUV ■ KrF等その他リソグラフィー ■ 多層材料
- CMP/洗浄剤 ■ 実装材料など



半導体材料グローバル戦略

- 📍 JSR グループ企業
- 📍 共同研究拠点



注力事業2 ライフサイエンス事業

バイオ医薬業界のニーズに応え 目標を上回る成長を目指す

JSRグループのライフサイエンス事業は、マテリアルサイエンスを起点とする石油化学系事業で培ったポリマー技術を活用して医薬品製造で使用される材料を手掛けたことから始まり、バイオ医薬品開発・製造受託事業を行うKBI Biopharmaや細胞株構築受託事業を行うSelexis SAな

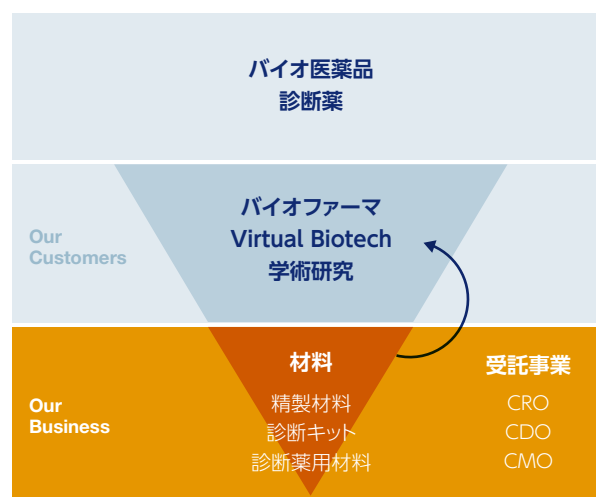
どの買収を経て、着実に拡大しています。そして、現在のバイオ医薬業界において課題とされている開発期間の長期化や開発コストの高騰などに対し、CROとCDMOによって貢献するとともに、独自材料を提供し、業界のニーズに応えています。

現在、ライフサイエンス事業は、売上収益の約半分をCDMO事業が占め、残る約半分はCRO事業、2021年に100%子会社化したMBL、自社材料（診断・研究試薬材料、バイオプロセス材料）が占めています。2021年度のコア営業利益率は4.4%でしたが、先行投資を売上収益拡大に確実につなげることでコア営業利益率の向上を図ります。

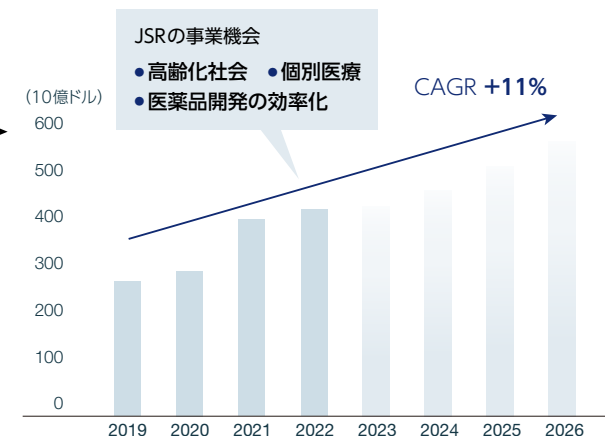
また、ライフサイエンス事業はまだ立ち上げ時期にあり、事業規模拡大やグループ間統合のさらなる推進による収益性の向上余地が大いにあると認識しています。コア営業利益率をさらに改善し、2024年度には売上収益1,000億円超、コア営業利益率で20%を目指します。また、技術開発などグループ全体のシナジー強化を進めます。

	売上収益高 CAGR+20%	コア営業利益率 20%
市場	規模 ●CDMO市場計：60億ドル (バイオ医薬品市場：4,000億ドル)	
	トレンド ●高い成長 ●精密医療分野の拡大	
社会的価値	●医薬品開発の効率化 ●一人一人にあった個別医療の実現	
強み	●複雑なバイオ医薬品の開発サポート力	
戦略	●顧客パイプラインの拡大による事業成長 ●ユニークな付加価値の創造	

JSRのポジション



バイオ医薬品市場



*JSR推定

Our Business

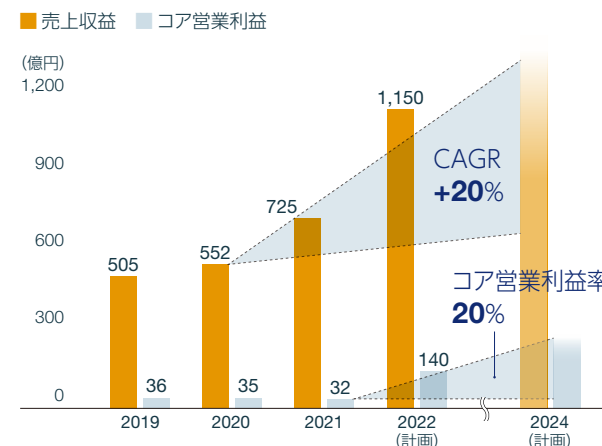
グループシナジーを強化し、さらなる事業成長を目指す

JSRグループのライフサイエンス事業は、バイオ医薬品の開発支援および診断薬材料、プロセス材料を販売しています。その中で、CDMO事業を担うKBI BiopharmaとSelexisの欧州における共同事業強化のため、スイス・ジュネーブに最先端のバイオ医薬品製造施設を新たに拡張し、また、米国・ノースカロライナには、KBI Biopharmaが顧客との共同プロジェクトを行うために、最先端のバイオ医薬品の商用生産施設を建設したことで、生産キャパシティがこれまでの約3倍(動物細胞)に拡大しました。これら両拠点がフル稼働した際には、売上収益への貢献が見込まれます。

さらに、2022年4月には、CRO事業のCrown Bioscienceと医学生物学研究所(MBL)が先進的な前臨床サービスを提供する合併会社を設立し、日本国内での成長加速を目指します。

今後も、適切なリスクマネジメントを行いながら、CDMOとCROで事業成長を牽引すると同時に、グループのシナジーを強化し、オープンイノベーションを通じた次世代商品の開発を推進することで、市場の成長速度を上回る20%以上の売上成長率を目指します。

中期経営計画の進捗と見通し



グループシナジーを活かしたワンストップ体制

